

## 園児はいつでも私のががみ

—ありのままに、すなおに—

第13組 西寶寺 野田恵光

話題となったアニメ「アナと雪の女王」のテーマソング、Let it go は「ありのままに」と和訳されています。歌詞の一部を抜粋すると「ありのままの 姿みせるのよ ありのままの 自分になるの 何も怖くない」と詠います。人はだれでも自分の弱みは見せたくないもの、自身の虚栄にうち克って等身大の自分であることはなかなかできないことです。みなさんどうですか。

私はこの三月まで、縁あって県内の保育園に勤めていました。保育園は様々な色の個性が躍動する、もっともうそのない世界です。くっついてまるくなったり、ぶつかって飛び散ったり、悲しくてひとりぼっちになったり、いつもすなおな姿を見せてくれます。

ある日のサッカー教室でのこと、指導者の飲料水を準備していると、一人の女の子が、「何してるの」と駆け寄ってきます。「先生に冷たい飲み物を用意しているんだ。」その言葉にすかさず、「やさしいね」と一言<sup>ひとこと</sup>。子どもたちはストレートに、その時の気持ちを表現します。しかし時々立場を優先して動いている私には、思いがけない言葉として、とっさに受容できないことがあります。サッカー教室で女の子が感じた「私のやさしさ」は、間違いなく場<sup>ば</sup>の都合による行為です。残念ながら、指導者を思いやるやさしい気持ちにはつながっていません。園児の「ありのままに、すなおに」言葉が、いつでも自分の思いを是<sup>ぜ</sup>とし、都合や立場で振る舞っている私の日常を、あざやかに写しだしてくれます。他を思うよりまず自分、<sup>じゃけんきょうまんあくしゅじょう</sup>「邪見 憍慢 悪衆生」の自覚は、心の底です。

邪見：自己中心のよこしまな考え 憍慢：おごりたかぶり、傲慢

悪衆生：自分が正しいと思い、この身の罪深さに気付いていない私